

兵庫県佐用町昆虫館周辺で 2012 年に再捕獲されたアサギマダラの マーク個体と同年の昆虫館でのマーキング記録

宮武 頼夫¹⁾・清水 哲哉²⁾

はじめに

兵庫県佐用町昆虫館周辺では、昨年(2011年)10月には福島県グランデコスキー場でマークされたアサギマダラの個体が、また一昨年(2010年)10月には石川県の宝達山でマークされた個体が再捕獲されている(宮武, 2011)が、今年(2012年)の10月にも長野県からの遠距離移動のマーク個体が再捕獲されたので記録しておく。

また、今年の10月には昆虫館周辺でかなりマーキングを行ったので、標識記録や若干の観察結果などを記述しておきたい。再捕獲個体の標識情報をご連絡いただいた長野県の増澤敏弘氏、標識に協力いただいた近藤伸一氏と齋藤泰彦氏、昆虫館の庭にフジバカマを植えて、アサギマダラの観察に便宜を図っていただいた三木 進氏にお礼申し上げる。

最後に、今後も昆虫館でのアサギマダラの移動調査を続けていきたいので、マーキングのしかたと、マークをしたアサギマダラを再捕獲した時の記録の取り方や処理のしかたなどを解説した。全部クリアするのは大変だけど(特に子ども達の場合)、科学的な調査の一環なので、基本的なところは押さえて欲しい。

2012年の再捕獲記録

10月21日に、清水が昆虫館の庭のフジバカマで吸

蜜していたマーク個体を採取、メイリングリストで情報提供を呼びかけたところ、下記の様な移動が判明した。

長野県美ヶ原林道 8/24 → 兵庫県佐用町佐用町昆虫館 10/21
移動距離 353km, 移動期間 58日, 移動方向 WSW

【標識記号】uTu 8.24 JET 2458 (図 1)

【性別】♂

【前翅長】56 mm

【標識日】2012年8月24日

【標識地】長野県松本市美ヶ原林道 袴越山周辺

【標識者】増澤敏弘

【備考】ヨツバヒヨドリに訪花、画像あり

↓

【標識記号】uTu 8.24 JET 2458 (左翅)

【性別】♂

【再捕獲日時】2012年10月21日 10:50

【再捕獲地】兵庫県佐用町船越 佐用町昆虫館庭、標高約 240m,
メッシュコード 52345314

【再捕獲者】清水哲哉

【備考】フジバカマを訪花、画像あり

【再標識記号】SY 10/21 TS1(右翅)(図 2)



図 1 佐用町昆虫館で再捕獲された長野県からの移動個体(清水哲哉撮影)。

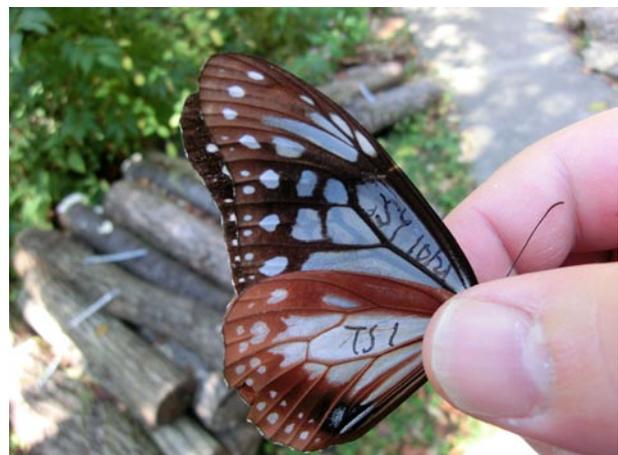


図 2 佐用町昆虫館で再標識されたアサギマダラのオス(清水哲哉撮影)。

¹⁾ Yorio MIYATAKE アサギマダラを調べる会, こどもとむしの会; ²⁾ Tetsuya SHIMIZU こどもとむしの会

標識記録

1. 2012年10月6日(土)の9:50, 佐用町昆虫館での標識

【標識記号】兵庫・佐用 1

【性別】♂

【標識者】近藤伸一

【備考】フジバカマ訪花

2. 2012年10月7日(日)に, 来館の家族が午前中に1頭採取, 15:09にマークをして放した.

【標識記号】12/10/7 さよう昆 Yui

【性別】♂ 破損あり

3. 2012年10月11日に, 佐用町昆虫館庭で8頭にマーキング

【標識者】清水哲哉

【標識記号】右翅にはすべて「121011 Hyogo 佐用」とマーク
左翅にはそれぞれ下記の番号をマーク

♂ 兵庫 しみず 1

♀ 兵庫 しみず 2

♀ 兵庫 しみず 3

♀ 兵庫 しみず 4

♀ 兵庫 しみず 5

♀ 兵庫 しみず 6

♂ 兵庫 しみず 7

♂ 兵庫 しみず 8

【備考】すべてフジバカマを訪花

4. 2012年10月13日の9:30~14:10に, 佐用町昆虫館庭で13頭にマーキング

【標識者】近藤伸一

【標識記号】右翅にはすべて「121013 Hyogo 佐用」とマーク

左翅にはそれぞれ下記の記号・番号をマーク

9:30 ♂ 兵庫 k9

9:30 ♂ 兵庫 k10

9:30 ♂ 兵庫 k11

10:20 ♀ 兵庫 k12

11:25 ♂ 兵庫 k13

12:10 ♀ 兵庫 k14

12:42 ♀ 兵庫 k15

12:55 ♀ 兵庫 k16

12:57 ♀ 兵庫 k17

12:57 ♀ 兵庫 k18

13:00 ♀ 兵庫 k19

14:00 ♀ 兵庫 k20

14:10 ♀ 兵庫 k21

【備考】全てフジバカマを訪花

5. 2012年10月14日(日)の10:30~13:45の佐用町昆虫館での標識記録

天候は曇り

12:05 ♀ YMK1 SY 10/14 鮮度(O) ピークマーク3箇所 交尾済み
ブッドレア訪花

12:35 ♂ YMK2 SY 10/14 鮮度(N) 破損なし フジバカマ訪花

【標識者】宮武頼夫

10:30 ♂ YSA1 SY 10/14 鮮度(N) 破損なし フジバカマ訪花

12:30 ♂ YSA2 SY 10/14 鮮度(O) 破損あり フジバカマ訪花

12:30 ♀ YSA3 SY 10/14 鮮度(N) 破損なし 交尾済み フジバカマ訪花

12:35 ♀ YSA4 SY 10/14 鮮度(O) 破損あり 交尾済み フジバカマ訪花

14:45 ♀ YSA5 SY 10/14 鮮度(M) 破損あり 交尾済み フジバカマ訪花

【標識者】齋藤泰彦

同所再捕獲の記録

2012年10月19日(金)~21日(日)に, 佐用町昆虫館のフジバカマを訪花した同館でのマーク個体を清水が記録した.

【10月19日の再捕獲】

10月13日近藤氏標識のk19(♀)

【10月20日の再捕獲】

10月13日近藤氏標識のk18(♀), k19(♀), k20(♀), k21(♀)

10月14日齋藤氏標識のYSA2(♂, ボロ)

【10月21日の再捕獲】

10月13日近藤氏標識のk12(♀), k14(♀), k18(♀)

10月14日齋藤氏標識のYSA2(♂, ボロ), YSA4(♀)

【10月27日の再捕獲】

10月13日近藤氏標識のk18(♀)

同所再捕獲のアサギマダラに♀が多いのは, 佐用町昆虫館周辺のキジョランに産卵し, ここでほぼ移動を終了した個体が多いのではないかと想像する. YSA2は♂であるが, とても古い個体で, 翅が相当破損しており, も

う移動できなかったのではないかと推定している。

付記1 アサギマダラのマーキングのしかた

【用意するもの】虫採りアミ, 白いタオル, 物指し(10cm くらいまで測れる), 時計, 温度計, 油性細書きサインペン, カメラ, フィールドノートかマーキング記録用紙, ボールペンかえんぴつなど。

花で吸蜜しているアサギマダラをアミでそっとすくい取り, 取り出して前翅を親指と人差し指ではさみ, 後翅の裏にマークする。飛んでいるアサギマダラは, 白いタオルを振り回すと寄ってくるので, ネットですくい上げて捕る。

オスカメスカを確認する。オスには後翅の下方外角に黒い性標がある(図3)。

標識記号と通し番号をつける。この頃は外国まで飛んでいく場合もあるので, できたら自分の名前前のローマ字綴りからアルファベットの3文字(2文字ではだぶる人が多い)をとり, 通し番号をつける。私の名前前のローマ字は Yorio Miyatake なので, YMK1 などとつけている。この通し番号はマークした場所は関係なく, その年のその人の通し番号なので, 既に他所で2頭マークしていたら, YMK3 から始める。この標識記号はアサギマダラの左後翅裏にマークする。

右後翅裏には, マークした場所の略号と, 日付を記入する。佐用町昆虫館で10月20日にマークしたら, SY 10/20 と記す。標識記号とマークした場所の略号, 日付は同じ翅に記入してもよい。

マーキングした日付とチョウを放した時刻, 場所(出来るだけ細かく詳しく, 標高なども), 天候, 気温, 破損の有無を個体ごとに記録しておく。マークした人の氏名もきちんと記録しておく。

できれば前翅長を測定する。前翅のつけ根のちょっと内寄りに大きな白い点があるので, その中心から翅端までの直線距離を物差しで測る。



図3 大阪府交野市で2006年にマークしたアサギマダラのオス(宮武頼夫撮影)。

できれば, 鱗粉の落ち具合や白い縁毛が残っているかどうかで判断して, 鮮度を3段階(新N, 中M, 古O)で判定して記録しておく。

メスの場合は, 交尾済みか未交尾かをチェックして記録する。交尾済みの場合は, 腹端の交尾口の上に細い黒い筋(交尾痕)がある。また, そっと腹部を親指と人差し指でつまんでみると, こりこりした精包が認められる。時には2個以上(複数回交尾)入っていることもある。

備考として, 何の花に止まっていたか, 飛んでいたか, タオルで呼び寄せたかなどを記録しておく。翅の破損箇所もここに記す。

マーキングが終わって, 必要な事項を記録し終わったら, カメラで写真を撮っておいたほうがよい。

マーキングの時は, アサギマダラの体を持たず, 前翅を指で挟んで行った方が負担がかからない。放蝶の時は放り上げないで, 手のひらにそっと寝かせると, やがて飛び立ってゆく。

マーキングをしたときは, 標識記号ほか上記のすべての情報をお知らせいただくか, メーリングリストに書き込んでいただければ, インターネットで全国へ発信する。

付記2 マークのついたアサギマダラを捕まえたときの処理法

花に止まっているアサギマダラなどにマークがついた個体がいいたら, まずネットで捕まえて, 全ての標識記号を確認して書き取る。

オスカメスカを調べて記録する。

再捕獲の場所(詳しく), 日時, 天候, 気温, 鮮度, 前翅長, 破損の有無, 再捕獲者の氏名などを記録する。備考として, どんな花に来ていたか, 飛んでいたか, タオルで誘引したかなどを記録する。

できれば, 再捕獲者の新たな標識記号を追記する。両方の後翅にマークがあったら, どちらかの前翅に記入してもよい。

メスであれば, 交尾済みか未交尾かを調べて記録する。放蝶する前に, 元の標識記号と追記した標識記号の両方の写真を撮っておく。

上記の全ての情報をお知らせいただくか, メーリングリストに書き込んでいただければ, インターネットで全国へ発信する。

参考文献

宮武頼夫, 2011. 兵庫県佐用町昆虫館周辺で再捕獲されたアサギマダラのマーク個体—2010年と2011年の記録. きべりはむし, 34(1): 1-2.